

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1407	(H.26)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	確かな学力の育成に係る実践的調査研究事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	雪岡 正明	

会計区分	事業コード	468701
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	教育費	確かな学力の育成に係る実践的調査研究事業
項	教育総務費	(小事業名)
目	教育振興費	確かな学力の育成に係る実践的調査研究事業

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施 策	1	学校教育
	小 施 策	2	義務教育
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
全国学力・学習状況調査や市による、独自の調査等において学力の定着に課題が見られた学校に対する調査研究を行い、学力向上の支援を充実し、児童生徒の学力向上を図ります。
事業内容
学力定着に課題を抱える学校を協力校として選定し、取組を支援し、学力向上を目指します。また、学力向上のための実践交流会等において、協力校での取組を他校に発信することを通して、他の学校での実践に生かしていきます。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	報償費:外部講師謝金(145千円) 需用費:需要費(75千円)	報償費:外部講師謝金(137千円) 旅費:研修等旅費(30千円) 需用費:需要費(53千円)			

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	220千円	220千円			
内 国・県支出金	220	220			
内 地方債					
内 その他( )					
内 一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数					
職員	0.10人	0.10人			
臨時職員等	0.01人	0.01人			
②概算人件費	(0千円) 767千円	767千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 987千円	987千円	0千円	0千円	0千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
確かな学力育成のために教師の授業力向上と授業改善のための取組を実施しました。協力校による実践とともに、市内全小中学校の教師の授業力向上と授業改善を目指した取組を実施しました。成果指標ともいえる全国学力学習状況調査結果は、毎年8月頃に公表されますが、確かな学力育成の取組については継続的に取り組む必要があります。	さらなる教師の授業力向上と授業改善を目指し、基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成していくために、その基盤としての「書く活動」を授業の中に位置付けて実施します。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	子どもたちが「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康や体力」を身につけることができるよう、安全で快適な教育環境を整備することの基本方針達成に貢献すると考えられます。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
--	------------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
県からの委託事業については、本年度にて終了の予定。

## 6. 事務事業の取組に係る主な市の計画

<ul style="list-style-type: none"> <li>・名張市次世代育成支援行動計画</li> <li>・名張市子ども教育ビジョン</li> </ul>
--